

上下水道管の老朽化対策

計画的な更新で事故の未然防止

問 全国的に水道管の破
裂事故による断水や老
朽化した下水道管が原
因の道路陥没が発生し
ているが、市の現状は、



定期的な点検で市民生活を守る

答 本市の上下水道事業
は、持続可能な財務構
造の構築や安定水源へ
の転換を図り、老朽化
が進む施設、管路の維
持管理、更新等に積極
的に取り組んでいる。
水道管の老朽化対策

一般社団法人新設へ 中学校部活動の地域展開

あかしタイムの現状と方針は

問 中学校部活動の地域
展開である、あかし
タイムの現状と方針は、

答 あかしタイムについ
ては、部活動の地域展
開にかかる運営管理や
子どもたちの指導を担
う実施団体の募集と各
団体を統括する運営団
体の設立を計画してい
る。同運営団体は学校
給食と部活動地域展開
の運営機能を合わせた
一般社団法人とする予
定だ。法人設立により
任意の団体として業務
を行ってきた学校給食

的に更新している。特
に避難所など重要な給
水施設につながる管路
を優先的に耐震管に更
新し安定的な給水を確
保する方針としている。
下水道管もリスクの大
きな箇所から点検調査
を行い、事故の未然防
止に努めている。

問 市内の交通不便地域
の新たな移動手段につ
いて、市の認識を問う。

答 市内の移動は鉄道、
路線バス、たこバスが
担っており、市街化区
域のうち約9割が公共
交通利用圏で本市公共
交通サービスは利用し
やすいと考える。しか
ら、

交通不便地域の 新たな移動手段

今後の取り組みは

し路線バス運行地域で
も休止や減便が相次ぐ
など、さまざまな課題
があると認識している。
問題解決には新たな
地域コミュニティ交通
や住民主体のポランテ
ィア交通等の検討が必
要である。魚住地域で
は住民主体の助け合い
組織を立ち上げ、支援
が必要な人の通院補助
や買い物支援等、移動
に関する取り組みを実
施している。今後も引
き続き、他都市の先進



たこバスの利用者数は年々増加

架け橋期の教育を充実 幼児教育センター 設置に向け検討

会が法人格を有し、透
明性の高い会計を実現
することができる。部
活動地域展開の運営に
ついて長年の実績があ
る学校給食会の事務
処理能力や組織基盤の
活用により、設立初期
から安定運営を実現で
きるメリットがある。
なお全国的な課題とし
て実施団体の税務処理
の問題があるが、部活
動地域展開の成功には
事務負担軽減が必須で
あるとの考えから、新
設する法人が税務処理
を行うこととしている。

問 幼児教育センターを
設置し、幼保小の架け
橋期の教育の充実に取
り組まないか。

答 本市は現在、保育の
質の維持・向上に向け、
公開保育や学識経験者
等による講話、保育所
長経験者による保育施
設の訪問、臨床心理士
による保育指導などを
行っている。さらに、
研究指定幼稚園の研究
結果発表会の公開や講
師を招いて研究協議を
行う中学校区グループ
研究会など、幼児教育
の充実を図っている。
幼児教育センターの
設置には既存の取り組
みをさらに深めるだけ
でなく、アドバイザー
など専門的な人材の確
保やセンター設置に伴
う予算の確保等、持続
可能な組織体制を構築
する課題がある。

問 障害のある人の親亡
き後の生活基盤の支援
体制について聞く。

答 明石市基幹相談支援

障害のある人の生活基盤整備 安心して暮らすための支援を

センターは、障害のあ
る人の日常生活や社会
生活等に対応した相談
支援を行っており、親

亡き後の住まいや金銭
管理の方法等について
本人の希望を丁寧に関
き、必要な福祉サービ
スを調整している。市
後見支援センターは、
認知症や知的障害、精
神障害等で判断能力が
十分でない人等が住み

慣れた地域で安心して
生活できるよう成年後
見制度の利用支援や権
利擁護支援を行っている。
また、社会福祉協
議会は、認知症や障害
などで判断能力が低下
している人への日常的
な金銭管理や弁護士等

たことからの引き続き
資格取得を目指す人へ
の支援を行う。
人材育成の取り組み
として、7年度は市内
事業所の新人・若手職
員を対象に研修を行っ
た。8年度は中堅職員
と全階層対象のきめ細
やかな研修を追加す
ることにより、事業所間
の垣根を越えた交流の
機会を創出し、やりが
いを持って働ける環境
整備に努めていきたい。

**全国から行政視察を
受け入れています**

明石市が先進的に取り組ん
でいる子ども施策や福祉施策
などを中心に、令和7年は北は
北海道、南は沖縄県まで、全国
から62団体494人(オンライ
ン8人を含む)の行政視察を受
け入れました。

<主な視察項目>

- ・おむつ定期便
- ・離婚前後のこども養育支援
- ・認知症あんしんプロジェクト
- など

請願

▽不採択となった請願△

- 新庁舎建設計画の未発注工事等と総事業費の解明を求める請願
- 旧図書館跡地活用計画の疑問点解明と慎重審議を求める請願
- 市民病院再整備基本方針の財政的な検討経過と事業費の解明を求める請願
- 議会基本条例に基づく常任委員会の審議と運営改善を求める請願

**福祉人材の定着・育成へ
やりがいを持って働ける
環境整備に努める**

福祉人材の定着・育
成の取り組みについて
聞く。

問 福祉人材の定着・育
成の取り組みについて
聞く。

答 人材不足が深刻なケ
アマネジャー確保の取
り組みとして、令和6
年度から資格更新者に
給付を行い、5年ごと
の更新研修費用を助成
している。7年度から
は試験対策講座を実施
している。受講者の合
格率が全国平均を上回
り、ケアマネジャーの
確保に一定の効果があ
る。

たことからの引き続き
資格取得を目指す人へ
の支援を行う。
人材育成の取り組み
として、7年度は市内
事業所の新人・若手職
員を対象に研修を行っ
た。8年度は中堅職員
と全階層対象のきめ細
やかな研修を追加す
ることにより、事業所間
の垣根を越えた交流の
機会を創出し、やりが
いを持って働ける環境
整備に努めていきたい。

市民の憩いの場(石ヶ谷公園の梅林)

**スマートインターチェンジ整備
石ヶ谷公園の梅林保全を前提に
幅広く意見を聴き調査検討**

問 スマートインターチ
ェンジ整備における石
ヶ谷公園の梅林への影
響について聞く。

答 石ヶ谷公園の梅林は
植樹から約50年、市民
の憩いの場として活用
されており、設置に梅
林の約8割を利用する
ルートから梅林保全を
前提とした別ルート
を検討している。検討ル
ートは梅林エリアを迂
回、あるいは一部を通
過しサービスエリアに
接続する2案で、梅林
への影響はそれぞれ約
1・5割か約2・5割
程度を想定している。
この梅林保全を前提と
した2案をもとに、引

事例を調査・研究し、
地域から自主的運行を
検討するとの声があれ
ば支援を行い、市と地
域共創による新たな移
動手段を検討していく。

引き続き、国、県、NE
XCO西日本と協議し、
周辺住民、地域や産業
界などに幅広く説明、
意見聴取していく。
なお、令和8年度は
調査検討を行った上で、
国が実施する準備段階
調査箇所の採択に向け
てエントリーするかと
うかを判断していく。